- ア ダ ム ス -

ADMS

人事異動に伴うアカウント管理を効率化し、
シングルサインオンで業務効率を改善できる
パッケージソフトウェア

ADMS 製品ラインナップ

ADMS IDM Ver.8

ADMS IDMとは、Active Directory、グループウェア、メールサーバ等複数のアカウント管理を容易にするID統合管理ソフトウェアです。
組織変更、人事異動等のアカウント管理にかかる管理コスト、オペレーションミスを低減します。

新機能・機能強化ポイント

☑RPAを用いた自動連携機能の追加

ADMS IDMから出力したCSVファイルをRPAを利用して連携先システムへインポートすることが可能となりました。※1
データ反映までの自動化が実現可能となります。

※1　Webブラウザシステムに限られます。

☑Microsoft 365連携機能の強化

・Microsoft Entra IDマスタ連携機能を追加
　Microsoft Entra IDをアカウント源泉データとすることが可能となりました。
　Microsoft Entra IDへのユーザアカウント、及びグループの操作（追加/変更/削除）を基に、他のシステムへのアカウントデータ連携が可能となります。

・Teams連携機能を追加
　源泉データからのライフサイクル、及びワークフローを用いた申請により
　チーム管理（作成/削除/利用期間設定）やチームメンバー管理（追加/変更/削除）が可能となりました。

・Exchange Online機能強化
　ADMSのWebポータルから配布リストの管理（作成/削除/メンバーの制御）が可能となりました。
　同様に、共有メールボックスの管理（作成/削除/メンバーの制御）が可能となりました。

ADMS Lite Ver.1

ADMS Liteとは、ネットワークの強靭化に伴い、異なるネットワーク間におけるActive Directoryのデータ同期を支援するソフトウェアです。
※ADMS IDMの導入がない環境でも、ADMS Liteを導入することが可能です。

ADMS SSO Ver.2

ADMS SSOとは、代理認証型のシングルサインオン（SSO）を実現するソフトウェアです。
代理認証・パラメータ認証（POST/GET）のため、SSO先のアプリケーションを改修することなく連携することが可能です。

※ADMS IDM、ADMS Lite、ADMS SSOは単体で購入することが可能です。

ADMS IDM で解決！

人事異動直前の作業
・前日まで作業できない
・限られた時間内では作業ミスや漏れが発生

膨大なアカウント管理
・管理ツールがバラバラ
・システム毎のアカウント把握も手間

属人化によるリスク
・引継ぎの手間と時間が本来の業務に影響

パスワード管理の複雑さ
・使用するシステムが多く管理が大変

\Point /

① 業務効率向上

組織変更・人事異動・非正社員の雇用に伴うアカウント管理（変更・登録・削除）作業を効率化します。

② セキュリティ強化

強固なアクセス制御で情報漏洩を防止します。作業履歴や認証履歴などのログをサーバに記録します。

③ コスト削減

大規模変更時の反映処理を大幅に短縮できます。既存システムの変更が不要なため、比較的簡単に低価格で導入可能です。

④ ゼロトラスト

ゼロトラスト・セキュリティモデルを導入するためには、誰がどのシステムにアクセスできるか ID 管理が必要になります。
その際、ADMS IDM を ID 管理基盤として利用できます。

ADMS Lite で解決！

ネットワーク分離により AD が複数ネットワークに存在するが、信頼関係は結びたくない

複数のネットワークの ID 管理を統合したい

ネットワーク分離したので、通信ポートを双方向には空けたくない

ネットワーク間でアカウント名は若干異なるが、パスワード情報は同一にしたい

\Point /

① AD 間の ID 連携を実現

簡単設定で導入でき、ドメインが異なる AD に対してグループ、ユーザー、OU の情報を連携できます。

② ID 連携の手法が選択可能

ファイルによるデータ渡し or 指定したポートのみで通信（片方向）が可能です。

ADMS SSO で解決！

システムの変更をせずシングルサインオンを実現したい

オンプレの業務システムがフェデレーション認証に対応していないため、別の仕組みが必要

VDI/RDS 環境に SSO したい

SSO サーバに障害が発生したときも業務は継続したい

\Point /

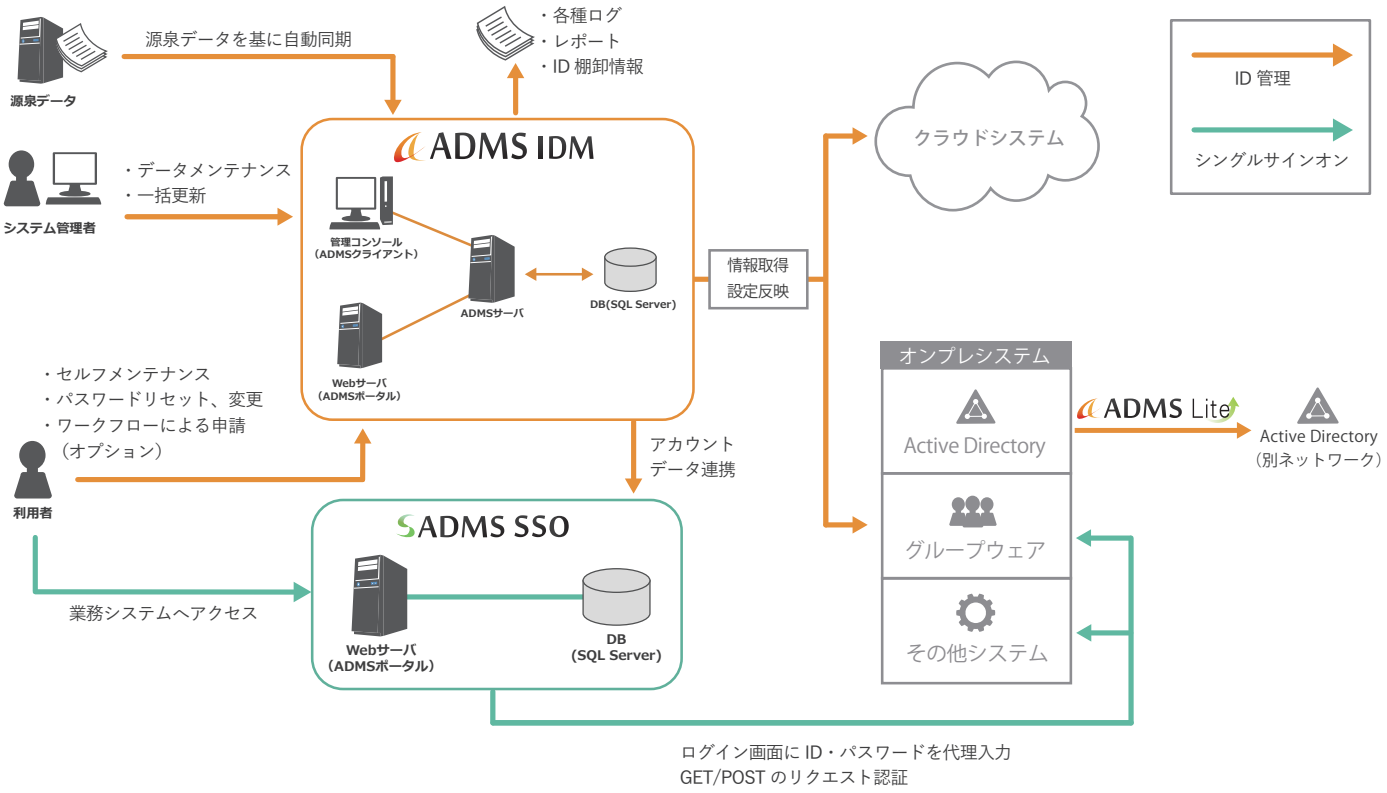
① システム変更不要

代理認証機能のため、現在利用しているシステムの影響を最小限に抑えて SSO を実現できます。

② 障害時の業務継続

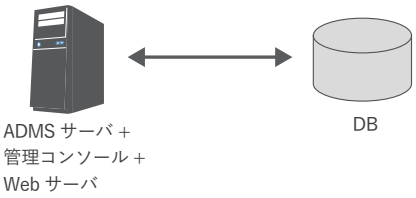
リバプロ方式やエージェント方式ではないため、SSO サーバに障害が発生した場合、直接システムにログインして業務継続することが可能です。

システム構成



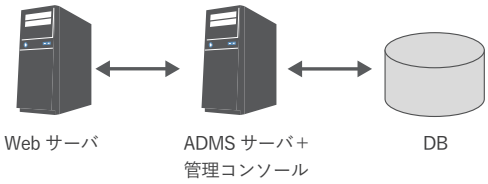
基本構成

1台のサーバ内に全てを同居します。
1台で管理するため、サーバのバックアップ、管理手順を簡素化できます。



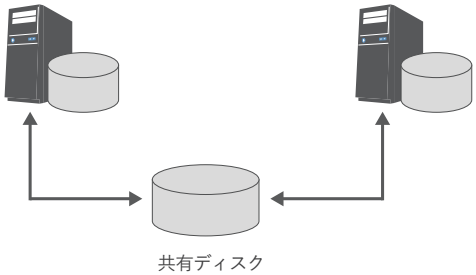
分離構成

Webポータル 、管理コンソール、DB部分を分離します。
負荷分散環境や1台のサーバに高スペックサーバを用意できない場合に推奨しています。
なお、Webサーバはロードバランサを用意していただければ、負荷分散が可能になります。



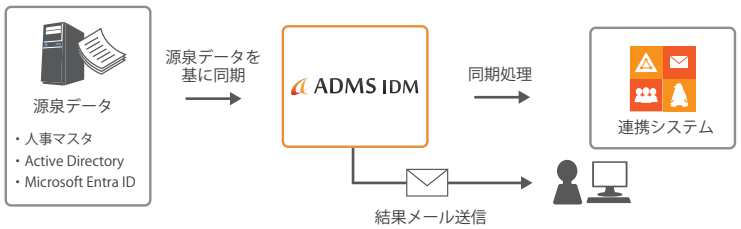
クラスタリング構成

アクティブ/スタンバイ構成で高可用性を実現したい場合に推奨しています。
SQL Serverの有償版とノード間でシェアできる共有ディスクが必要になります。



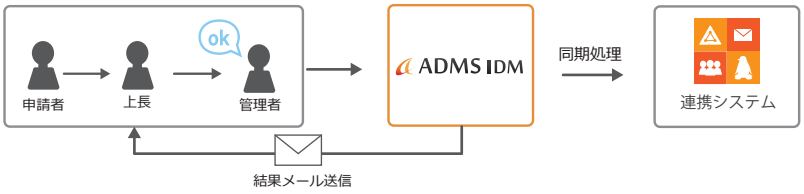
運用イメージ

1 源泉データ（人事マスタ /Active Directory/Microsoft Entra ID）を基に人事異動処理を自動化したい。



事前に設計したルールに従って人事異動、組織改正を自動化します。自動処理されるため、人事異動作業は処理結果を確認するのみとなります。

2 ワークフロー機能を利用して、人事異動処理を自動化したい。



各部署の権限で連携システムへ反映され、管理者の負担も軽減できます。
承認やシステム登録時に結果をメール通知します。

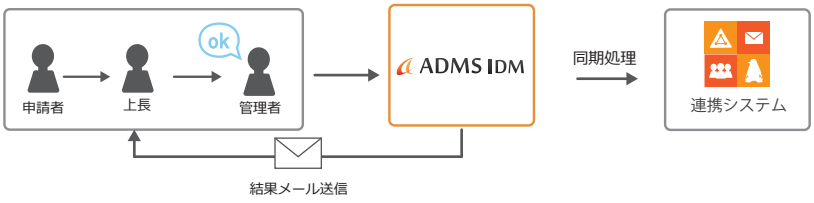
3 フォルダ作成、及びフォルダアクセス権の管理を自動化、または管理の権限委譲をしたい。

源泉データの情報、及びワークフロー機能（申請 / 承認）を利用したユーザからのデータ入力を基に、アクセス権を設定したフォルダ作成や、フォルダアクセス権を有するセキュリティグループのメンバー制御を自動化します。

4 パスワード情報を連携システムに反映したい。

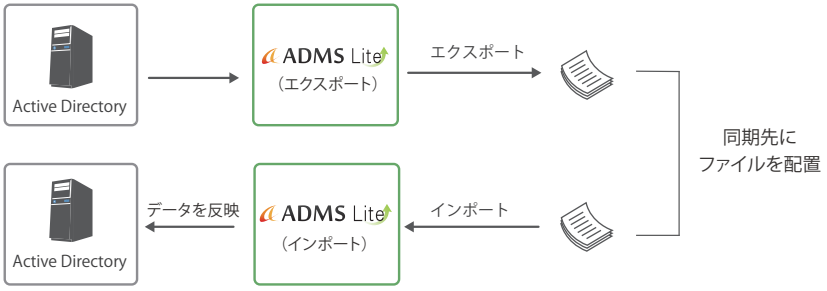
利用者による Active Directory のパスワード変更（Ctrl+Alt+Del）、及び ADMS ポータルにおけるパスワード変更操作に伴い、任意の連携システムにパスワード連携を行います。

5 ユーザに対する特権 ID の払い出しを自動化したい。



ワークフロー機能（申請 / 承認）を利用することで、期間設定を伴った特権アカウントの払い出しや削除、及びアカウントに対する特権の有効化 / 無効化、といった特権 ID 管理を自動化します。

6 ネットワーク分離環境の AD 情報の連携を自動化したい。



ADMS Lite ではデータのエクスポートを行うプログラムとインポートを行うプログラムの 2 つが存在します。
管理者はエクスポート、インポートを実施することで、データの反映が可能となります。
特定通信が可能な場合は、指定時間に自動同期することも可能です。

機能一覧

分類	機能	説明	ADMS IDM	ADMS Lite	ADMS SSO
ID 管理機能	ID ライフサイクル / プロビジョニング	組織、ユーザー等のオブジェクトの新規作成、変更、削除を ID ライフサイクルに合わせて自動化できます。	○※1		
	独自マスタ	ADMS 上に組織、ユーザー等のデータを保持することができます。	○		
	源泉データ加工	人事情報の源泉となるファイルの加工（複数ファイルをまとめる、複数行を単一行にまとめる等）が可能です。	○		
	源泉データ自動取込	人事システムなどのマスタ情報（CSV/Excel ファイル）を ADMS に取り込みます。	○		
	指定日反映（スケジュール）	新規作成・削除・プロパティ変更・所属関係等の各種変更操作をスケジュールで実行することが可能となります。	○		
	猶予（権限引継）期間	Active Directory のセキュリティグループを一定期間、異動前のグループメンバーとして残すことができます。	○		
	マッピング	連携システムと ADMS の属性を紐づけることができ、ADMS から定義したシステムに反映が行えます。	○		
	データ加工	文字列の結合、分割、置換、固定文字列設定、採番等、ADMS のデータを加工することが可能です。	○	○	
	フィルタリング	対象データを条件により絞り込むことができます。	○	○	
	ポリシー	新規作成や更新時に、定義したルールに従い、規定値を設定することができます。	○		
	ワークフロー	Web インターフェースのワークフローが利用でき、ワークフローで承認されるとシステムに反映結果が適用されます。	○※2		
	リハーサル	事前に登録結果を確認することができます。	○	○	
	履歴管理	定義した項目の履歴を保存することができます。履歴は出力も可能です。	○		
	ネットワーク分離環境でのアカウント連携	片方向の特定ポートを利用して、連携先の環境にデータを送ることができます。	○	○	
シングルサインオン機能	代理認証方式（Web アプリ）	ブラウザに専用のアドオンをインストールして対象の Web システムに ID やパスワードを自動入力し、シングルサインオンします。			○
	代理認証方式（C/S アプリ）	クライアント端末に専用のアドオンをインストールして対象の Web or C/S システムに ID やパスワードを自動入力し、シングルサインオンします。			○
	パラメータ認証	Web システムに POST/GET のパラメーターを送りシングルサインオンします。	○		○
利用者向け機能	Active Directory パスワード同期	Active Directory で変更したパスワードを ADMS がリアルタイムで取得し、連携システムに反映します。	○		
	パスワードリセット、変更	利用者が ADMS の Web インターフェースからパスワード変更、リセットができます。	○	○※2※3	
	セルフメンテナンス	利用者が ADMS の Web インターフェースから自分のプロパティ情報を変更することができます。	○		○
	パスワードポリシー	利用者のパスワード変更時に、パスワードポリシー（文字数、指定文字、過去に使用したパスワード利用しない等）を設定できます。	○		
管理者向け機能	ログ	各種操作の操作ログを取得しています。	○	○	○
	操作権限委譲	ADMS の管理コンソールを利用ユーザーにより機能を制限できます。 ワークフローオプションの場合は申請メニューや管理できる対象者を制限できます。	○		
	データ出力 / 入力	ADMS に保持しているデータを CSV ファイルまたは xlsx 形式のファイルとしてエクスポート、インポートができます。	○※4	○※4	○※4
	レポート	レポートを定義して、定期的にメールでレポートを送ることができます。	○		

※1　RPA 機能を使う場合はオプション購入が必要になります。
※2　オプションの購入が必要になります。
※3　Active Directory と Active Directory 間のパスワード同期機能となります。
※4　CSV および Excel 形式のファイル入出力に対応しています。

連携システム

- Active Directory
- ファイルサーバ
- Microsoft 365
- Google Workspace
- SmartOn
- Exchange
- LDAP
- i-FILTER
- EVE FA
- ChatLuck
- Unix / Linux
- グループウェア
- m-FILTER
- EVE MA
- CyberMail
- SmartHR
- カオナビ
- 他システム（CSV連携等）

※記載のシステムは ADMS IDM との連携を想定しております。こちらに記載していないシステムや SaaS サービスへの対応実績もございます。詳細はお問合せください。

動作環境

	ADMS IDM			ADMS SSO		ADMS Lite	
	ADMSサーバ(DB含む)	管理コンソール	Webサーバ	Webサーバ(DB含む)	利用者端末	エクスポート	インポート
対応OS	Windows 10 Windows 11 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 ※64bit環境		Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 ※64bit環境	Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 ※64bit環境	Windows 10 Windows 11 ※64bit環境	Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 ※64bit環境	
DB	SQL Server 2016 SQL Server 2017 SQL Server 2019 SQL Server 2022 ※Express Edition対応	利用しません	サーバのDBを利用します	SQL Server 2016 SQL Server 2017 SQL Server 2019 SQL Server 2022 ※Express Edition対応	利用しません	利用しません	
Webサーバ	利用しません	利用しません	IIS10	IIS10	利用しません	利用しません	
ブラウザ	利用しません	利用しません	Microsoft Edge Google Chrome	利用しません	Microsoft Edge Google Chrome	利用しません	
条件	.NET Framework 4.8						

※ Active Directory 連携を行う場合、インストールするサーバはドメインのメンバーサーバ（ドメイン参加しているサーバ）であることが条件です。
ドメインコントローラにもインストールは可能ですが、推奨はメンバーサーバとなります。
※ ADMS の各製品は 1 台のサーバに共存してインストールすることが可能です。

■ 推奨スペック　ADMS IDM（Webポータル無し）

	2,000ユーザー以下を想定			10,000ユーザー以下を想定		
	ADMSサーバ(DB含む)	管理コンソール	Webサーバ	ADMSサーバ(DB含む)	管理コンソール	Webサーバ
CPU	2コア以上	2コア以上	-	2コア以上	2コア以上	-
メモリ	4GB以上	4 GB以上	-	8GB以上	8GB以上	-
HDD	アプリ領域で10GB	アプリ領域で2GB	-	アプリ領域で10GB	アプリ領域で2GB	-

■ 推奨スペック　ADMS IDM（Webポータルあり）

	2,000ユーザー以下を想定			10,000ユーザー以下を想定		
	ADMSサーバ(DB含む)	管理コンソール	Webサーバ	ADMSサーバ(DB含む)	管理コンソール	Webサーバ
CPU	2コア以上	2コア以上	4コア以上	4コア以上	4コア以上	12コア以上
メモリ	4GB以上	4GB以上	8GB以上	8GB以上	8GB以上	12GB以上
HDD	アプリ領域で10GB	アプリ領域で2GB	アプリ領域で30GB	アプリ領域で20GB	アプリ領域で5GB	アプリ領域で50GB

■ 推奨スペック　ADMS SSO（ブラウザ型）

	2,000ユーザー以下を想定			10,000ユーザー以下を想定		
	DBサーバ	Webサーバ	利用者端末	DBサーバ	Webサーバ	利用者端末
CPU	2コア以上	4コア以上	2コア以上	4コア以上	8コア以上	2コア以上
メモリ	2GB以上	8GB以上	2GB以上	4GB以上	8GB以上	2GB以上
HDD	アプリ領域で30GB	アプリ領域で20GB	アプリ領域で2GB	アプリ領域で30GB	アプリ領域で20GB	アプリ領域で2GB

■ 推奨スペック　ADMS SSO（クライアントモジュール型）

	2,000ユーザー以下を想定			10,000ユーザー以下を想定		
	DBサーバ	Webサーバ	利用者端末	DBサーバ	Webサーバ	利用者端末
CPU	2コア以上	4コア以上	2コア以上	4コア以上	8コア以上	2コア以上
メモリ	2GB以上	4GB以上	2GB以上	4GB以上	8GB以上	2GB以上
HDD	アプリ領域で30GB	アプリ領域で20GB	アプリ領域で2GB	アプリ領域で30GB	アプリ領域で20GB	アプリ領域で2GB

■ 推奨スペック　ADMS Lite

	2,000ユーザー以下を想定		10,000ユーザー以下を想定	
	エクスポート	インポート	エクスポート	インポート
CPU	2GHz 1コア以上		2GHz 2コア以上	
メモリ	4GB以上		6GB以上	
HDD	アプリ領域で5GB		アプリ領域で10GB	

・ADMS IDMと SSOは分離構成の想定です。
1 台に機能をまとめる場合はサーバ、
Webポータルを加算した数値を目安としてください。
・運用方法によりスペックは変動します。
・10,000ユーザー以上も実績がございます。
詳細はお問い合わせください。

ADMS

https://adms.jins.co.jp

製品に関するお問合わせはこちらまで ▶ adms-sell@jins.co.jp

株式会社 ジインズ
https://www.jins.co.jp

| 本社 / 開発センター / 問い合わせ
〒406-0846 山梨県笛吹市境川町三椚301
TEL.055-269-8780 FAX.055-240-1200

| 東京事業所
〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目6-6 MIFビル9F

※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。
※本カタログに記載の内容は予告なしに変更することがあります。※無断転用・転記を禁じます。Copyright © 2015-2024 JINS Corporation

2024年9月現在